

渋谷校 / 大野昌恵

# 私ときもの

KIMONO & I

「本科の時に出会った紫色のきもの」

本科に入学して間もなくのことでした。

広い教室いっぱい、沢山きものが置かれて

いました。クラスメイトたちとワイワイと

その教室に入りました。担任の先生が、奥の

方へと順に案内してくださったようでした

が、私は、入り口近くに置かれていた、数本の

紫色のきものに目が止まり、その色の美しさ

に思わず、その場に座り込んでしまいました。

その時は、そのきものが何であるか、どのよ

うにして作られたものなのか、全く知らずに

いましたが、担任の先生はそこから、私に

似合いそうな柄を選んでくださいました。

そのきものが「紫紺染」であるを知ったのは、

暫くしてからのごとでした。

あれから二十数年、袖を通すたびに当時の

事が思い出され、私の中では大切なきもの

一枚となっています。